

◆ 平成30年度活動報告シート ◆

団体名：秩父地域環境問題連絡協議会

21A-30

代表者：会長 高野和之

URL : <http://www.page.sannet.ne.jp/snaito/> (秩父環境観光コラボレーション)

1. 活動が必要とされた状況

秩父地域では絶えずバードウォッチングが行われている。専門家は鳴き声、遠景で種を特定できるが、青少年を始めとする一般の参加者には困難である。観察会の終了時には、「鳥あわせ」という確認作業がなされるが、姿もよく解らないまま未消化のままのことが殆どであった。そこで、バードウォッチング時に携帯できる、コンパクトで、しかも、秩父地域で現在確認出来ている野鳥の写真集が必要だと考えた。

愛好者が撮りためた写真をコンクールとして募集し、A5程度の写真集を提供することで、観察者自身が種を確認し、更に専門的な分野に研究を進める手がかりに出来ると思った。秩父地域には、現在「秩父の野草」、一昨年作成した「秩父地域の巨樹名木の研究」((公財)サイサン助成事業)があり、今回の事業は環境第3シリーズの位置づけとなる。

2. 活動の内容(実施時期、参加人数、活動内容など)

- ・ 平成30年4月14日、上期助成決定通知授与式
- ・ 平成30年10月1日、11月1日より写真コンクール募集チラシを秩父郡市1市4町1村に配付
- ・ 平成31年1月20日まで、写真募集延期。冬鳥が遅れている傾向のため。ここまで、チラシ3回配付。
- ・ 1月31日～2月4日、矢尾百貨店で写真展を実施
- ・ 3月10日、写真集原稿提出
- ・ 3月31日、「秩父の野鳥とバードウォッチングの手引き」出版



A3額で65枚展示



ミューズパークで行ったバードウォッチングに41名が参加

3. 活動の成果

- ・ 秩父地域の野鳥写真、104枚がA4サイズで寄せられた。過去10年間で撮りためた写真が対象だったが、以外と平常から撮影している人は少ないと感じた。
- ・ 予備審査会を経て、65枚を展示した。写真展は340名の参観者が得られ、200名から投票していただいた。集計結果と審査員の点を集計して3賞を決定した。
- ・ 3月29日、応募者全員を集め、表彰式を秩父市役所会議室で実施。
- ・ 3月31日、「秩父の野鳥とバードウォッチングの手引き」を500部発行。
- ・ 市民の他、秩父愛鳥会、高校の部活動など多数の協力が得られ大きな成果があった。

4. 今後に残された課題

10年程度の写真を今回は対象にしたが、事前予告が出来なかったため、春鳥、夏鳥の応募が少なかった。今後もより効果的に更新する機会を模索して行きたい。